

『まるごと』(初級2 A2) <かつどう> 教え方のポイント

1. 授業の構成の目安 (120分の場合)

①②…音声聞く回数

●トピックの扉ページ (5分程度)	
<ul style="list-style-type: none">・写真でトピックのイメージをつかむ・学習目標 Can-do の確認 (自分の身の回りで使えそうな場面を思い出す)	
●語彙導入ページ (15分程度)	
<ol style="list-style-type: none">1) 語彙と場面の導入をする。語彙はトピックとしてのまとまりを意識する。2) 音声と意味を結びつけて、理解する。<ul style="list-style-type: none">・ 音声を聞く前に、学習者に写真と文字を見る時間を1分ぐらい与える。・ 音声で文を聞く ①・ 音声を途中で切りながら、教師による音声提示+写真/イラストなど+模倣 ②・ 音声で文を聞く ③ (指さし確認や音声による模倣をする)・ 新しい語の練習3) 学習者は導入された語彙を自分自身の生活に関連付けて考え、自分にとって必要な語彙を選ぶ。	
●活動のページ (80分程度)	
<ol style="list-style-type: none">1) 場面設定確認 (どんな人が、どんなところで、何のために話しているか。 その人たちはどんな関係か、<u>人間関係を構築するための発話がどこにあるか</u>、など。)2) 聞きましょう<ul style="list-style-type: none">・ 質問と手順確認・ キューになっていることばやイラストの確認・ 音声を聞く①② → 質問(1)に回答・ 音声を聞く③(④) → 質問(2)に回答場面、語彙、既有知識を使って質問に答える(タスクをする)。聞いて気づくことを重視するので、<u>文法・文型を聞く前に教えることはしない</u>。 ※音声ファイル(BGM有とBGM無し)の使い方等については別文書参照のこと。3) はっけん(発見)<ol style="list-style-type: none">2)で何度も同じ談話構造の会話を聞いて気づいた言語形式や表現と、その意味やコミュニケーション上の機能を確認する。 <p>「聞きましょう→はっけん」(帰納的学習)の手順の例 (第4課 p41②) (「聞きましょう」でインプットされたとみなして)</p> <table border="1"><tr><td>ルール確認(説明を聞く)</td></tr></table> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・ キーフレーズ(例文)を見て、言語構造上のポイントを説明する。 「飲み物はまだ飲んじゃだめです。」	ルール確認(説明を聞く)
ルール確認(説明を聞く)	

- ↓
- ポイント1 「飲んじゃ だめです」という表現を使っている
 - ポイント2 キーワード「飲みます」は形を変えている（活用変化を伴っている）
 - ポイント3 「飲んじゃ」「だめです」は話し言葉。「飲んじゃ」は、書き言葉では「飲んで」。

練習して理解

- ↓
- ・活用の確認
活用形のボックスで提示した以外に、ほかの語を加える必要はない。<かつどう>の「はっけん」では、基本的に当該課に必要な語だけを扱う。もし加える場合は、同じトピック場面で使えるものに限定すること。
 - ・練習問題をする。活用形のボックスの中に答えがあるので、1人でやってみる。

音声で再確認

- ・発見した構文を意識して、音声をもう一度聞く。
- ・ペアで答えチェック後、全体でチェック。

4) ペアで話しましょう

ここですぐに暗記する必要はなく、本を見ながら言えればよい。少しまとまった談話の場合は、準備をしてから話す。楕円形の吹き出し内の表現は、会話の流れによって使えるオプションを示している。表面的なやりとりにならないように注意しながら、人間関係が構築できるように、日本語で言語的・非言語的に表す技能を身につける。

●生活と文化（15分程度）

- この活動は「写真を見る→知る→興味を持つ→行動する」という流れを想定している。学習者にとって楽に理解できる言語（母語や媒介語）が必要となるので、教師だけでは対応できない場合は、それができる人（ほかの教師やスタッフ、上級学習者など）に頼む。
- ・学習者は、写真を見て、日本社会で普通に見かけるコトやモノについて知る。
 - ・自分が気づいたことをほかの人と話す。それによって、自分の見方をふりかえったり、他者の見方を受け入れたりすることができる。
 - ・自分なりの興味を持って実際に行動につなげる（例えばインターネットで調べる、日本料理店に行く、facebookで日本人の友人を作るなど）。行動することで、文化という抽象的なものに実感を持てるようになり、日本人も自分たちと同様一人ひとりの個人であること、日本社会も複雑で多様で可変性に富んだ社会だと認識できるようになることを期待している。
 - ・教師は、学習者が接することのできる日本文化の情報を提供したり、学習者同士の情報

共有の場を促進したり、気づきを深める助けをしたりする役割が期待される。

●Cando チェック (5分程度)

巻末のチェックリストを使って、その日の学習の達成度を★で自己評価し、母語でコメント(感想)を書く。

●「V-ています」と「V-てます」の表記について

本書<かつどう>では、話し言葉をベースにして学習を進めるため、会話のスキriptやCan-do 会話など音声化する部分は「V-てます」と表記している。一方で、指示文、Can-do 会話の中でもモノログ的になっているもの、「はっけん」での例文では、「V-ています」または「V-て (い) ます」としている。

●音声ファイル、書くタスクのシートなど関連教材のダウンロード

→<http://marugoto.org/>

●各課のポイント

トピック1 あたらしい友だち

扉の写真は、国際交流パーティーのイメージ写真。服装や身につけているものがさまざまであること、このような場面でどんなことを話すかなど、Can-doに関連付けて話す。

第1課 いいなまえですね

①じこしょうかい

学習者がお互いのことを知り、人間関係を構築するための交流会話の準備。今まで学習した自己紹介の場面で使う語彙や表現を思い出す。ここでは日本語クラスを想定して、自己紹介で話すこと(1-6)をあげた。大人なら年齢に限らず、話したくないことがあるだろう。

「ひみつです」と言ってユーモラスに切り抜ける方法も紹介している。(2)「どんな人だと思いますか」は、名前の意味を言うときに使う、性格を表すことばを出した。

②やさしい子といういみです

「Can-do1 自分の名前の意味など個人的な情報を言って自己紹介します」

① 自己紹介場面。自分のことを知ってもらい、印象に残るように、名前の意味や由来を話すこともよくある。日本語の場合、名前の漢字表記からその意味がわかることが多いが、漢字がなくても、名前の意味は説明できる。学習者も自分の名前の意味を簡単に言えるとよい。聞いた人の反応(「いい名前ですね」など)にも注意を向けたい。

② 「～といういみ」は人名だけでなく、地名の意味の言い方にもなる。

③JF フーズという会社ではたらいっています

「Can-do1 自分の名前の意味など個人的な情報を言って自己紹介します」

① 自己紹介場面。(2)では、会社や地名などを聞きとって記入する。

② 自己紹介の場面などで、聞き手にとって耳慣れないことばを言うときに「～という～」を使う。

③ 会社名、住んでいる町の名前などを言う。名前は、はっきり、ゆっくり、相手にとって聞き取りやすく発音する。「V-ています」は会話ではしばしば「V-てます」となる。また、相手のことを聞く場合には「ごきょうだい」「ごかぞく」のように「ご」をつけて丁寧さを表す。

④さいきん見たえいがは…

「Can-do2 趣味や経験など自分について少し詳しく話します」

自己紹介の場面の続き。趣味や好きな活動について言った後、最近したことや経験など少し詳しく話す。

① 4人の趣味や好きな活動が何かがわかればよい。答えを確認した後で、教師の方から

「山田さんが最近見た映画は？」と質問し、学習者は「インドのミュージカル」と答えられればよい。

- ② 名詞修飾を確認する。例文であげたものはどれも固まり（チャンク）で覚えても便利な表現。
- ③ ②～④で練習した内容（最近見た映画、よく読む作家、…）を使って、少しまとまりのある文で自己紹介をする。準備の時間が必要。聞き手は、わからないことばを質問したり、コメントを言ったりして積極的に参加する。榎田吹き出しの中の「～って、どういう意味ですか」に対する答え方は「～語で…という意味です」。

第2課 めがねをかけている人です

①友だちはどの人ですか

パーティーなどで、自分から少し離れた所にいるだれか（知り合い、友人、家族など）が話題にあがることがある。ここでは、服装や外見、行動や状態などを話している場面を想定した。まずは文をよく聞いて、おおぜい人の中でのどの人のことか特定できるようにする。動作の継続（笑っています、泣いています）、動作の結果の状態（めがねをかけています、座っています）、「～は～が（形容詞）」文（せが高いです、髪が長いです）を使っている。意味理解のために動詞文と形容詞文の整理が必要かもしれないが、ここで詳しい文法説明や「て形」の作り方を練習する必要はない。

②サリーを着ている人です

「Can-do3 だれかの服や外見的な特徴を言います」

- ① 場面はパーティー会場での立ち話。知り合いや話題の人を遠くから見て、話題にする。会話を聞いて、その中の表現をヒントに28ページの中から話題の人を探し出す。
- ② 「V-ている」は本書初級1第4課で天気のことを言うときにも使った。名詞修飾の形なので、「V-ています」が普通形「V-ている」になる。（サリーを着ている人）
- ③ イラスト利用もいいが、クラスの中をパーティー会場に見立てて話してみてもよい。会話の場にはいない第三者で特に面識のない人のことは「あの人」と言ってもいいが、より丁寧な言い方は「あのかた」。

③やさしそうな人ですね

「Can-do4 よく知らない人について印象を言います」

友だちの家族や友人について（本人がいない所で）印象を言う。また、印象を言われて応答する。相手への関心を示して人間関係を構築する交流会話。

- ① (1) は会話をしている相手の家族や友人について印象、(2) はその印象が実際と合っているかどうか、聴解のポイント。印象と同じ／違うことの裏付けとなる事実もよく聞くこと（家のことも仕事もよくする、時々きびしいなど）。

- ③ 家族の写真を見ながら、印象と実際を話す。「かつこいい」「かわいい」など外見を言う形容詞の場合、「～そう」(×かつこよさそう、×かわいそう)にはならない。

<生活と文化：せいふく>

制服は所属や職業を表し、他の人と区別する役割を持つが、その人たちの活動に合ったものになっている。自衛官や清掃員は仕事がしやすいこと、医者や看護師(3)、板前さん(5)は清潔であることなどが重要。制服などからその職業が特定の印象(やさしそう、まじめそう…)を与えていることもある。その印象は実際の本人と合っていることもあれば、そうでないこともある、そんな経験などを話せるとよい。

※写真補足説明

2 東日本大震災の被災地での活動

- 6 新幹線の清掃員。女性2人で1両約100席を約8分で清掃とカバー交換等をするので話題になった。

トピック2 店で食べる

扉の写真は和食の店(右)と洋食の飲食店。<かつどう>では和食の店を場面として取り上げる。外国からの友人を地元のおすすめのレストランや料理屋に案内し、いっしょに食事をするという状況。そこではどんなことを話すか、写真を見ながら考えてみる。

第3課 おすすめは何ですか

①わしょくのレストラン

「Can-do5 レストランに入って人数と席の希望を言います」

- ② 和食のレストランの店先での実用会話。地元をよく知る人が地元の料理が食べられる店に客や友人を案内するという場面。学習者の住む町でも日本料理店に行ったらこのような会話を耳にするだろう。店の人が敬語を使うことに注意。ここでは定型表現として扱い、文法説明の必要はない。和食の店にはテーブル席と座敷の両方があることが多いので、文化情報として知らせるとよい。

②この店でいちばんおいしいのはよせなべです

「Can-do6 たてがきのメニューを読みます」

「Can-do7 案内したレストランでおすすめの料理について話します」

- ① 写真を見ながら、料理の名前を読む。メニューの漢字はふりがななしたが、写真の見出しはかな書きにしてある。メニューは和食の店らしく縦書き。ゼロも縦書きに使われる。ソフトドリンクはアルコールが入っていない飲み物をいう。鍋料理を中心にした日本料理が並んでいる。鍋料理は、調理しながら同じ鍋の食べ物をみんなで食べる。
- ② メニューを見ながらおすすめの料理が何か、なぜおすすめなのかを聞く。

③肉は食べないんです

「Can-do8 食べられないものと理由を簡単に言います」

「Can-do9 料理と数などを言って注文します」

① ②に引き続き、皆でテーブルに案内された後、メニューを見ながら何を食べるかあれこれ話す場面。ここでは食べられないものと理由を言う会話を聞く。

③ ②③のインプットをまとめた会話を練習する。学習者おすすめの地元の料理についてもぜひ話してみるとよい。「宗教上の理由」「健康上の理由」は食餌制限がある学習者のために提示した。「野菜なら、てんぷらがいいですよ。」という文は「野菜は^{しょくじ}てんぷらがいいですよ。」と同じ意味。相手の言ったことに対してアドバイスをするとき「NならNがいいですよ」という言い方をする。

④おきまりですか

日本料理店でいよいよ注文する場面での会話。ここでも店の人は敬語を使うことを確認するが、①(p34)と同様、定型表現として軽く流すこと。なお、和食の店では、コーヒーは食事が一通りすんでからあらためて注文することが多い。コーヒーの写真を場面写真と切り離しているのは、そのためである。

第4課 どうやって食べますか

①料理の食べかた

和食のレストランで料理を食べる場面。写真からもわかるように、注文したのは鍋料理という想定。皆で鍋で料理を作りながら食べる意味（親しい雰囲気など）を学習者なりに感じてほしい。

はじめに、料理の食べ方を説明するときに必要なことばを導入する。「塩からい」ことを西日本では「からい」、東日本では「しょっぱい」という傾向が強いので、文字では両方を示した。この後に続く会話スクリプト等の音声では「スパイシー」の意味の「からい」と区別するために、「しょっぱい」を使っている。

②かんばいしてから、飲みましょう

「Can-do10 友だちに食事をするときの順番を言います」

① なべ料理ができるまでの場面。食事をするとき、ふつうどんな順番で食べるのか、慣れている人が不慣れな人に話している。

② 「V-ちゃ」は「V-ては」の縮約形で、「V-ちゃだめです」のように、会話で使われる。

③たれをつけて食べてください

「Can-do11 料理の食べ方を言います」

- ① なべ料理を食べる場面で、慣れている人が不慣れな人に料理の食べ方を教える。会話を聞く前に、イラスト a~d を見ながら動詞など必要な語を確認しておくこと。
- ③ できれば自国の料理の食べ方を日本語でどう説明するか考えてみるとよい。「はじめての味です」は、食べたことのない味や、予想外の味、苦手な味だった場合に使える表現として示した。否定的なコメント（「まずい」「おいしくない」「口に合わない」など）が言いづらいときに特に役に立つだろう。

④私の国の料理の食べ方

「Can-do12 自分の国の料理の食べ方をメモを見ながら言います」

自分の国や町の有名な料理について、日本語で簡単に言えるようにメモを書いてから発表する。日常的に食べるもの、特別なときに食べるものなど、どんな料理でもよいができれば、学習者の国（や町）の人なら知っているもので、かつ外国人に食べ方を説明する必要があるものを取り上げる。発表と言っても A2 レベルなので、視覚的な補助がほしい。その料理の写真を見せて話すようにしたいが、できれば教師もその国の代表的な料理の写真を準備しておいたほうがいだろう。発表のイメージを持つために、イラストを見ながら Can-do12 (mp3 196)の音声をまず聞くこと。

ワークシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

<生活と文化：作りながら食べる料理>

テーブルで調理しながら食べる料理を紹介。なべ料理、お好み焼きと焼きそば、焼肉、手巻き寿司の写真を載せた。皆で楽しく作りながら同じものを食べるという行為は、交流そのものである。ことばがまだうまく話せなくても、いっしょに食べることで親しくなれる。学習者の国ではどんなものがあるか、考えてみてほしい。

※写真補足説明

- 1 なべ料理：しゃぶしゃぶは、昆布だしに薄切りの肉（牛肉や豚肉など）をさっと通して、たれをつけて食べる。
- 2 お好み焼き：大きな鉄板の上で焼く。お好み焼きは、特に大阪や広島が有名。味の決め手はソースだが、さらにマヨネーズをかけるのも人気。写真左側は同じ鉄板で焼きそばを作っているところ。広島風お好み焼きにはやきそばが入っている。
- 3 焼肉：一口大に切った肉（主に牛肉）を炭火で焼いて、たれにつけて食べる。肉は焼く前にたれにつけこんであることもある。手軽に焼けて、おいしいので人気。
- 4 手巻き寿司：にぎりずしとちがって、食べる人が自分でつくれる。海外でも日本人の開くホームパーティーなどで手巻き寿司が供されることがよくある。中に入れるものは、さしみに限らず、好みに合わせていろいろ楽しめる。

トピック3 沖縄旅行

まず扉の美しい沖縄の写真で動機づけをはかる。沖縄は日本最南端にあり、亜熱帯気候の島。観光地としてたいへん人気がある一方で、太平洋戦争のときには多くの県民が犠牲になった、悲惨な歴史もある。

第5課 ぼうしを持っていったほうがいいですよ

第5課は、旅行前の情報収集の場面。旅行先について情報を求めたり、求められた人がアドバイスしたりする。日本に旅行に行く場合、学習者はどうやって情報を求めるか、逆に自国にいる日本人や自国に旅行に来たい日本人にどのような情報を提供できるかという観点で、動機づけをはかるとよい。

①かんこう

旅行情報のサイトを見ながら必要な語彙を学ぶ。「マリン、レジャー、基本、交通情報」など本物らしさを出すために未習語彙や漢字が使われているが、その部分を学習項目としなくてもよい。「あなたの国には自然豊かな観光地がありますか。そこで何ができますか」という質問には、日本人に紹介したい自国の観光地をとりあげ、どう伝えるか考える。

②海もきれいだし、食べ物もおいしいし、いいところですよ。

「Can-do13 観光地がどんなところか友だちに聞きます／言います」

- ① 自分が行こうと思っている観光地にもう行ったことがある友人に情報を求める場面。会話の目的は文型練習ではなく沖縄はどんなところか尋ねること。「(ある観光地に)行ったことがありますか」(経験の有無) → 「どうでしたか」(感想を聞きながら情報を求める) という談話の流れを意識させたい。選択肢のイラストは、2つを組み合わせると1枚のイラストになっているので注意。
- ② 「～し、～し」は、思いついたことをあげ、最後に評価的なコメントを言う文型。この課では形容詞の普通形を使う。巻末「文法まとめ」(p140-p141)も参照のこと。
- ③ 沖縄の代わりに日本の地名や現地の観光地を入れて話すとよい。質問された観光地に行ったことがない場合には、「いいえ、(行ったこと)ありません。」と答える。

③ぼうしを持っていったほうがいいですよ

「Can-do14 自分の経験をもとに旅行する季節などについてアドバイスします」

- ① ②に引き続き、旅行情報に関するやりとり場面。「Vていった」の縮約形「Vてった」を紹介した。会話には「持ってったほうがいい」「着てったほうがいい」の2例がある。
- ② あることをすると聞き手に利益がある場合／あることをしないと聞き手に不利益が生じる場合に「V-たほうがいい/V-ないほうがいい」を使って助言する。
- ③ 学習者は日本旅行について情報をもとめる立場にも、自国の情報について現地在住の日本人に提供する立場にもなり得る。③の会話は後者の立場を利用しての練習も行いたい。

④沖縄に行くとき、どうやって行きましたか

「Can-do15 旅行のときの交通機関について自分の経験を話します」

① ②③に引き続き、旅行情報に関するやりとり場面。旅行先の交通手段について情報を求める／答える。

② 「～とき」を使って、主節の内容がいつのことかを表す。

< S1 (V1-る／ている／た) とき、 S2 (V2-ました) >

S2 (文の主節) にある動詞 V2 は全体の時制を表す。ここでは過去に行った沖縄旅行の経験を話しているのので、過去形「V2-ました」になっている。S1 は S2 がいつのことなのか説明する部分。文法説明は最小限にして、むしろ、具体的な状況を想像して、動作 V1 の形 (V1-る／ている／た) と結びつけること。行く、帰るは「行っている」「帰っている」とはせず、A 点から B 点までの移動を全体として捉え「A から B に行くとき／帰るとき」とする。

第6課 イルカのショーが見られます

①旅行のパンフレット

旅行に行ってから、日帰りや半日の現地ツアーの情報を求めてホテルの人に聞く場面。パンフレットには沖縄で参加できるツアー情報がある。写真と見出しをヒントに音声を聞く。学習者は自国の観光情報の情報源として日本人と話す機会もあると思われるので、自分の国の観光地ではどんなツアーがあるか考えてみる。

②イルカのショーが見られます

「Can-do16 旅行先のホテルで興味があるツアーについて話します」

① ツアーのパンフレットを見ながら、ホテルの人とやりとりをする場面。(1) で答えるツアー名は 54 ページのパンフレットの中から選ぶ。聞きとりの前に推測させてもよい。会話には動詞可能形のいわゆる「ら抜き」を取り入れた。「見れる」「食べれる」「起きれる」のように、辞書形 3 音節までの動詞は会話で「ら抜き」になることが多い。『まるごと』かつどう編では、課とセクションのタイトル、「はっけん」等の言語形式の学習の部分では規範的に表記し(「見られます」)、インプットする会話音声には一部「ら抜き」を取り入れた。このように文字言語と音声言語の間には違いがある。

② 可能形を取り上げる。ここでは、あることを実行できるかどうか、個人の持つ技能や能力というよりも、環境、設備、状況などの条件が整っていることに依拠している。

③一日中楽しめました

「Can-do17 参加したツアーについて感想を言います」

① ツアーから帰ってきて、ホテルの人に感想を聞かれる場面。ツアーが不満足な場合でも、「まあまあです」と表現をしていることや、ツアーから帰ってきた人に対する「きれいなコップですね」「残念でしたね」という反応にも注意。

- ② 「～し、～し、…」の文型は、第5課では形容詞を使ったが、この課では動詞を使う。ツアー後の感想を言うので動詞は過去形になる。(Vたし、Vたし、～ました/かったです)
- ③ ホテルの人と客という設定でもいいが、そうでなくても学習者同士で、旅行の感想を聞いて交流ができればよい。感想を言うために使える表現を「～し、～し」に限定しなくてよい。学習者自身が話したい内容によって、自由にほかの表現も選んでよい。

④おきゃくさまアンケート

「Can-do18 ツアーについてのアンケートを読みます」

ツアー参加者に対するアンケートを学習素材として取り上げた。アンケートには「ご参加、ご協力、性別、年齢」など、学習者にとって見慣れない漢字が多数あるが、まず意味を推測させる。学習する語彙は、「ふつう」「ちょうどいい」。日本語学校やコースのアンケートも日本語ですると実際使用の機会になる。

<生活と文化：しぜんを楽しむかんこうち>

日本の観光地の写真をきっかけに、日本人に紹介したい自国の観光地についても、学習者からいろいろな話が出るとよい。

トピック4 日本まつり

扉は海外で行われる日本祭の様子。右下はジャカルタ（インドネシア）、ほか3枚はサンパウロ（ブラジル）である。写真を見ながら、現地の日本祭（あるかどうか、いつどこであるか、行ったことがあるかなど）について話す。このようなイベントでは在住日本人と現地の人々が協力して働くことが多い。何らかの形で日本と関わりがある人がボランティアスタッフとして参加することもある。このトピックでは、そのようなボランティアとして働くときの日本語使用場面をとりあげる。

第7課 雨がふったら、どうしますか

①日本まつりのボランティア

ポスターを見て、何のポスターか確認する。これは、日本祭そのもののポスターではなく、そこで働くボランティアスタッフ募集のポスターである。次に、イベントスタッフの仕事にどんなものがあるか考えながら、語彙を確認する。学習者の経験を話してもよい。「じゅんぴ」と「かたづけ」はいろいろな仕事に関わる。「h マンガきょうしつ」の「きょうしつ」はここでは体験コーナー、ワークショップのような活動のこと。

②ヨサコイがおしえられる人をさがしています

「Can-do19 友だちにイベントのボランティアをたのみます/こたえます」

- ① 海外場面。日本祭の運営担当で、ボランティアスタッフを探しているさいとうさんが、

現地の人たち（会社の同僚や友人など）に声をかける。全体的に会話もBGMも速度が速めで、元気で積極的な雰囲気を出している。音声はBGMありとBGMなしの使い方に工夫して聞いてみてほしい。可能文も使われているが、ここでは日本祭を実施するために必要なことができるかどうか、個人の能力の有無を聞いている。これに対して断るときは、自信がないこと（能力の不足）や都合が悪いこと（条件的に不可能）が理由になる。

② 活用形の確認は、名詞修飾節を作るためのポイントとして動詞の丁寧形（ます形）を普通形にかえる操作のみを示している。できます、おしえられます、かけます、はなせませすは動詞の可能形であり、能力を意味することも確認する。

③ 「お願いできませんか」は単独で使える依頼の表現。ここでは直接的に「ヨサコイを教えてくださいませんか」（初級1 第9課）と頼むのではなく、状況を説明して「お願いできませんか」と続ける。引き受けるときには、「はじめてですが、やってみます」と経験や自信はないが意欲を示す表現や、できないときに「自信、ありません」、何度も頼まれて「無理です」と断る表現も便利だろう。あまり強い言い方にならないように注意する。なお、「自信、ありません」は「自信、ないです」とも言う。

③もんだいがあったら、れんらくしてください

「Can-do20 スタッフのミーティングで聞いた指示について質問します」

① ボランティアスタッフを引き受けた人たちがミーティングをしている場面。ミーティングでの指示内容の説明や不明なことを確認するためのやりとりが行われる。何か仕事を頼まれたとき、ただ引き受けるだけでなく、仕事の手順や想定される問題について確認することは大切。また、指示されたらその内容を口頭でくり返して確認することも、仕事をするときの日本語の使い方として注目する。タスクは、打ち合わせ内容（集合時間と場所）と、質問の答えを聞く。回答方法がやや複雑かもしれないので、聞く前に確認しておく。

④ボランティアをします

「Can-do21 ボランティアの登録のために必要なことを書きます」

ボランティアの登録や申し込みのための書式を記入するタスク。「できること」は仕事内容に関するもの、ここでは日本紹介に関わる能力も含めてよい（「マンガがかける」など）。昼食に配られる「おべんとう」の選択は好みに対応するだけでなく、宗教的な事情やベジタリアンの人への対応。それぞれの国で他にどんな情報が求められるか考えてもよい。タスクシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

第8課 コンサートはもうはじまりましたか

①日本まつりのイベント

第7課がボランティア募集の広告だったのに対し、第8課は日本祭そのものの広告（ポスター、チラシ）を見る。学習者にとって興味があるイベントは、いつ、どこで行われるか。

もし特定の日時に出かけるとしたら、何が見られるか、いくら必要かなど、情報を取り出す問いかけをする。プログラム、うちわは来場者に配られるもの。受付でよくたずねることには、イベントの場所と時間のほかに、トイレの場所、忘れ物（たずねる、届ける）などが考えられる。

②何時にはじまるか、していますか

「Can-do22 受付でイベントの時間や場所などについて聞きます／言います」

① イベントに来た人どうしが話している場面と、知りたいことがわからなかったので受付の人にたずねている場面。2つの異なる場面で聞き方が違うことに注意する。「知っている」「わかる」は、このような場面であれば、来場者同士なら「知って（い）ますか」、来場者でプログラムなどを持っていて調べられる人なら「わかりますか」とたずねる。受付の人には「何時に始まりますか」「どこでやって（い）ますか」のように直接そのまま時間や場所を聞くか、「～わかりますか」を使ってもよい。

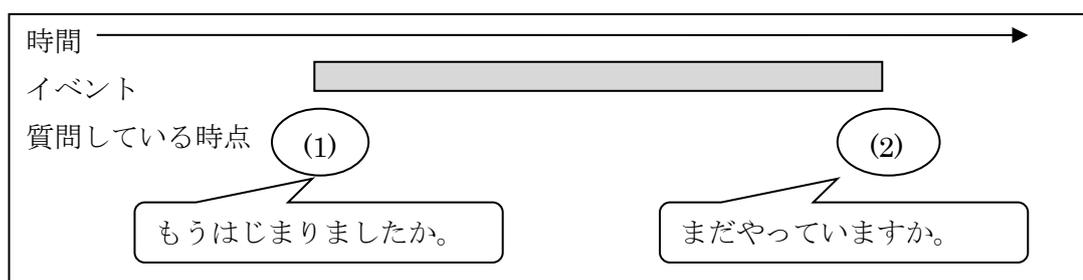
② 間接疑問文。名詞修飾節をつくるように、疑問文の文末で丁寧形（ます形）を普通形にする操作をする。このような文法説明はいつも簡潔に。

③まだやっていますか

「Can-do23 受付でイベントが今どうなっているか聞きます／言います」

① ②に引き続き、日本祭当日の受付。イベントの開始時間前後、終了時間前後に会場に来て、受付の人にそのイベントはやっているかどうかたずねる。

② 「もう→まだ」「まだ→もう」の問答の順番を暗記するのではなく、場面を頭に思い浮かべて、必要な情報や知りたいことは何かということから考える。以下のように、時間軸とイベントの実施、質問している時点を図示してもよい。



(1) 開始時間前後に会場に着いて、始まったかどうか知りたいとき

Q：もう始まりましたか。

A：もう始まりました。／まだ始まっていません。／（まだです 初級1第8課）

※もうやっています：ここではとりあげない。

(2) 終了時間前後に会場に着いて、やっているかどうか知りたい

Q：まだやっていますか。

A: まだやっています。／もう終わりました

※まだ終わっていません、もうやっていません: ここではとりあげない。

④ビデオはごえんりょください

「Can-do24 イベントの司会者としてメモを見ながらあいさつとお願いを言います」

② A2 レベルでは、司会者の定型的な挨拶や依頼事項ならメモを見ながら言えるとよい。はっきりわかりやすく話すように注意する。早く話す必要はない。「飲食」を「ビデオ」「携帯電話」などにかえてもよい。

<生活と文化: ボランティア>

日本では、以前は家族や地域の人たちが助け合っていたが、核家族化が進み地域のつながりも弱くなったため、ボランティアという形で助け合うことが増えている。各地の状況や自分の経験を話せるとよい。

72 ページでは以下のようなボランティアを写真で紹介した。

- ・災害にあった人を助けるボランティア（地元の人だけでなく、都市部から出かけるボランティアもいる。）: 1 東日本大震災の避難所で作業をするボランティア / 4 北陸など冬に雪がたくさん降る地方で高齢者の家の雪下ろしをするボランティア
- ・日常生活の中で周囲の困っている人を助けるボランティア: 2 近所の主婦が共働き家庭の子どもを預かる
- ・自分が住んでいる町や地方のことをほかの人に伝えたり発信したりするボランティア: 3 広島の平和公園で外国人旅行者に説明するボランティア

トピック5 とくべつな日

扉の写真は正月飾りとお節料理、お屠蘇セットなど。おめでたいものがたくさん並んでいる。正月のあらたまった雰囲気を感じてほしい。トピック 5 は正月の過ごし方や年中行事など日本の生活文化情報が豊富に提示されている。年中行事の形式だけでなく、その背景にある人々の願いや思いについても考えてみてほしい。

第9課 お正月はどうしていましたか

①正月の休み

正月の準備と正月にすることを写真とことばで導入する。項目提示が（1）正月（2）正月のじゅんぴ、と時系列と反対になっているので注意。

「b あいさつを読みます」は、a で示す口頭でのあいさつに対して、年賀状は読むあいさつと捉えたため。「年賀状を読みます」とさらに言いかえてもよい。お年玉は親や親戚などの大人が子どもに与えるもの。正月の伝統的な遊びにはかるた、凧揚げなどがある。正月の準備として、通常のそうじではなく、一家総出で大掃除をする。

②お正月はいそがしいですか

「Can-do25 正月に何をするか、どう思うか話します」

- 1 年中行事である正月についてどう考えているか、日本人の家族の話を書く。立場によって考えがちがうことを聞き取ってほしい。声の調子もよく聞くこと。いちばん大変そうなのは主婦。お父さんの受け答えはややはっきりしないが、最終的には子どもといっしょに過ごす時間として大そうじを楽しんでいる。10代女子は家族と過ごすのがたいくつ。小学生男子はお年玉を楽しみにしている。学習者自身はだれに共感するか話してみるとよい。本書では動詞否定形は「～ません」のみ使用しているため、女の子は「きょうみ、ありません。」と発言している。「きょうみ、ないです」も使われる。1-4番のBGMは童謡「お正月」。
- 2 「Nとか」は話し言葉でよく使われる。「Nや」と同じく、例を列挙する。
- 3 日本人の知り合いとの交流会話として捉えるとよい。学習者は、まわりの日本人に聞いたり、逆に日本人からその国の大きな行事について聞かれたりすることだろう。

③お正月はどうしていましたか

「Can-do26 正月休みをどうすごしたか友だちに話します」

- 1 年末年始の休み明けに職場や学校で友人／同僚同士で会話する場面。外国人にとって、滞在国の正月のような国民的な休暇をどう過ごすかは、ある意味、頭痛の種。休みが明けると、休暇をどうすごしたかよく報告しあうが、その場面を再現する。
1番「かえって（い）ました」の発音は「かえってました」となっている。3番「うちでごろごろしていました」とは、うちにいて特別なことはなにもしなかったということ。
- 2 (2)の可能形は第6課、第7課に続いて3回目。今回はて形にして理由を表現する。
- 3 日本の正月に相当する、学習者の国の特別な休暇にあてはめて行う。「あけましておめでとうございます」の部分は、学習者の国のあいさつのことばにおきかえる。

④ねんがじょう

「Can-do27 年賀状を読みます」「Can-do28 年賀状を書きます」

年賀状の書き方を学び、たて書きを体験する。筆ペンを用意して書くとおもしろい。なお、年賀状はいつもたて書きというわけではなく、横書きもある。また、例のような文を書き連ねなくても、もっと個性的に自由につくってみてもよい。ただし、年賀状は年が明けてから届くように出すことが大事。日本では西暦とともに元号も一般的に使われている。

「令和」は2023年現在の元号であり、天皇が変わると元号も新しいものになる。また、十二支の動物についても紹介するとよい。

タスクシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

第10課 いいことがありますように

①きせつのぎょうじ

日本の年中行事のうち、特に子どもと関係の深いものを5つ取り上げた。どんなものか予習したり、授業後サイトで調べるなどしてもよい。なお、年中行事の名前を暗記する必要はない。大切なのは、そのような行事が今も続いていることの背景として、子どもや家族の幸せを願う思いがあること。それは万国共通のものである。

②ひなまつりって何ですか

「Can-do29 季節のイベントについて何のためにどんなことをするか話します」

- ① 海外の日本関係機関（日本関係の店や会社、学校、機関など）のような、日本の飾り物をおいてあるところで、それについて日本人に聞いてみるという場面を想定している。5つの年中行事についての説明が若干長いが、がんばってほしい。「祈る」は特に神仏に対する働きかけと定義して、「願う」と区別するが、本書の文脈では特別な日の行動を説明するために「願います／祈ります」をほぼ同義語として使っている。「(だれ)のための(イベント)」「(女の子のためのまつり)は、「ため」の前と後ろにどんな語が来るか注意する。1-3番のBGMは行事にちなんだ童謡（1「うれしいひなまつり」2「こいのぼり」3「たなばたさま」）。
- ② イラストが示しているように、短冊に願い事を書くときは、「～ます／ませんように」と丁寧に書く。
- ③ 日本の年中行事の情報を練習のために使うのもいいが、最終的には学習者自身が情報源となって自国や町の年中行事についてA2レベルなりに説明できるようになることを目指したい。その際、教師は学習者が使いたい語彙や表現を必要に応じて教えるようにする。

③いろいろなまつり

「Can-do30 自分の国や町のイベントについてメモを見ながら話します」

- ① 町の年中行事の一例として、「佐倉の秋祭り」（千葉県佐倉市の秋祭り）を取り上げた。写真を見ながら簡単な説明を聞く。ここでの説明とは、写真という視覚情報を補う簡単なものである。佐倉の秋祭りは古く江戸時代から行われており、音声にはお囃子（祭りのときの音楽）も背景に入っている。祭りの雰囲気を感じてほしい。
 - ② ①を参考に、自分の国や町の祭りやイベント、年中行事について、写真を使って簡単に発表する。発表の前に、準備としてメモを書いておくこと。メモを見て発表してもよい。③の文は、「～ます」の形でも、「～たり～たりします」の形でも、どちらでもよい。④の文は行事の目的を書くところで特に難しいかもしれない。学習者の必要に応じて語彙や表現を教師が教えるようにする。
- ワークシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

<生活と文化：日本の正月休み>

写真を見て、日本人が正月前後の休みをどう過ごしているかを知る。学習者の国ではどうか、日本と比べて話し合ってみよう。年中行事に人々のどんな願いが表れているか話せるとよい。例えば大変な帰省ラッシュの中でも故郷に帰るのは、離れて暮らす家族と共に正月を過ごしたいと思うからである。また、そばは長いので長寿を願って年越しそばを食べる。新年のデパートなどでのイベントとも言える福袋は、何が入っているかわからないが、いろいろ入っていて値段も割安、という客引きの商品である。それを買うことには一種の運試しのようなスリルがあるという人もいます。

トピック6 ネットショッピング

扉の写真は、インターネットで買い物をする様子と、商店街（福岡市、上川端商店街）とそこを歩く買い物客の様子。学習者はふだんどんな方法で買い物をしているか話してみるとよい。

第11課 そうじきがこわれてしまったんです

① ネットショッピングのサイト

日本語のネットショッピングのサイトを見ることは、日本製の電気製品などの文化情報に触れる機会になる。海外に住む日本人が現地のサイトで買い物をすることを、学習者が手伝うこともあるかもしれない。授業中や授業後に、ネットショッピングのサイトを見ると、関心も広がるし、カタカナや数字を読む練習にもなる。90 ページはネットショッピングのサイトに電気製品というキーワードを入れて現れる画面のイメージ。電気製品は学習語彙なのでかな表記。電気製品よりも電化製品のほうが一般的な語彙だという見方もあるが、ネット上では両方使われている。

② そうじきがこわれてしまったんです

「Can-do31 今、何を、どうして買うのか話します」

① ウェブサイトで電気製品の情報を調べている人に話しかける交流会話。買いたいものが何かを聞きとるだけなので難しくはないだろうが、理由の表現（壊れる、調子が悪い等）が新出語彙なので、聞く前にイラストと語彙を見て状況を理解させること。「～ちゃった」は聞いてわかればよい。

② (1) 文型としてはややこみいって見えるが、ここでの使用語彙は「出ない」「動かない」に限られている。なお、練習のためにトピック場面から外れる語を加えることはしない。

(2) は構造が簡単なもの（おとしてしまったんです、こわれてしまったんです）から丁寧に確認して、(1) の応用（うごかなくなってしまうんです、調子がわるくなってしまうんです）に。流暢に使えなくても、まずは「～てしまった」に残念な気持ちが表れることを理解することが大事。「～んです」は状況や理由の説明に使われるが、それだけを取

り出して練習することはない。

③ 「それはこまりましたね／それはたいへんですね」などの表現は、このような場面での定型表現としてとらえる。

③よくネットショッピングをします。

「Can-do32 ネットショッピングについてどう思うか話します」

① ②の続き場面。ネットで買い物をするかどうか、また、その理由を知ること、相手の考え方や価値観を知ったり、自分との共通点を見出したりして、交流する。「ああ、わかります」は共感的に使われている。

② 付帯条件の「V-ないで」は、同じ動詞の「V-て」と対照すると意味理解がしやすいだろう。(例 店に行かないで買い物します。店に行って買い物します。)

③ グループやクラスで複数の人と話していろいろな意見を聞く。

第12課 こっちのほうが安いです

①ユーザーコメント

94 ページはほしいと思っている電気製品を選んで、クリックして現れた商品説明の画面。商品説明を読むことを通して、買い物に必要な語彙を学ぶ。画面の語彙は本物らしさを考慮してふりがなをつけていないが、「ユーザーコメント」は読んでほしいのでふりがなあり。音声を聞く前に、ページ上の漢字ふりがな付き文字(省エネ、翌日、送料無料、税込など)を音声化して確認しておく。グラフの読みとり(「みんなのレビュー」)は慣れていない人もいるので注意。「新しい電気製品を買うときに大事なことは何ですか」という質問は、個人の価値観が現れておもしろいので、答えを共有するとよい。

②ちょっと大きすぎると思います

「Can-do33 電気製品についてどう思うか話します」

① サイトを見て自分がいいと思った商品(電気製品)について、友人の意見を聞く場面。第11課からひき続き、いっしょにサイト(94ページ)を見ていることを前提としている。聞く前にどの電気製品について話しているかイラストを見て、確認しておく。

② 「小さすぎて、使いにくい」という表現を2段階にわけて学ぶ。「～すぎる、～にくい／やすい」は主観的な表現なので、「～と思います」とともに使って、おしつけがましくならないように配慮している。

③ 友人が自分のために言ってくれていることに配慮し、否定的な意見を言われたときに「そうかもしれませんね」とこたえている。同意を表わす「そうですね」もオプションとして示した。学習者の文化ではこのような表現方法をとるのか、あるいは別の言い方をするのか、考えてみるとよい。

③A モデルのほうが安いです

「Can-do34 2つの商品をくらべてどう思うか話します」

① ネットショッピングの続き場面。日本人の友人がジョイさんのためにサイトの情報を見てあげている。97 ページ右上のイラストを使って場面を理解してほしい。質問は2つあるが、(1) は、会話の終わりの方で出てくる結論（買うのはAモデルかBモデルか）を聞きとる。そして(2) でその理由を聞きとる。実際の会話では理由と結論を一度に聞きとる必要があるが、比較表現の理解は認知的負荷がかかるので、(1)(2) にわけて聞けるようにした。スクリプトを見ながら3回目を聞いてもよい。また、ここでは商品を「Aモデル」「Bモデル」と表現しているが、実際の会話では、むしろ「A」とか「こっち」と言う場合が多い。

<生活と文化：いろいろな店>

ネットショッピング以外の買い物行動の写真。何をかうかによって、買う場所を使い分けているので、人の価値観とその行動を考えてみる。プレゼント用や自分への特別な買い物は高級な専門店で、日常的な買い物はスーパーや個人商店でしたりする場合が多いだろう。日本の都市には市場らしいところは少ないので、それに代わるものとして商店街にある個人商店の写真に掲載した。

トピック7 れきしと文化の町

扉は京都の寺社の航空写真と京都駅の写真。現代的な京都駅を出ると、そこには歴史と文化の町、京都がある。このトピックは、外国人数人が日本人に案内されて京都を散策しながら一日を過ごすという設定。登場人物は日本の歴史や文化を楽しみながら、同時に交流を深める。

第13課 このおてらは14せいきにたてられました

①れきしと文化

観光に出かける前に、地図上で京都を散策してみるという設定。京都に何があるか、代表的なものを写真で示したが、もちろんこれですべてではない。天皇、将軍などはここでは建物との関係（御所は天皇がいたところ、二条城は徳川将軍がたてた城、など）で、簡単に説明する。103 ページ上の年表は1185年（鎌倉幕府成立）を境に、貴族の時代、武士の時代と分けた。時代の呼称は逐一示していないが、貴族の時代「平安時代」は、写真⑤の平安神宮と関係づけられるので、紹介しやすいだろう。なお、平安神宮は明治28年（1895年）に平安遷都1100年を記念して建てられた。

学習者の中には、京都旅行の経験者もいるかもしれない。知っていることを話してもらってもよい。

②京都ははじめてですか

「Can-do35 同じツアーのグループの人にその観光地に初めて来たのか聞きます／言います」

① 京都散策に出かける面々が駅前に集合する場面。案内役は大阪在住の小川さん夫妻。関西育ちで京都にも詳しく、ぜひ外国からの友人にも紹介したいと思っている。この日の京都散策ツアーに集合したのは外国人4人。小川さんは全員集合するのを待ちながら、もう来た人に声をかけてコミュニケーションをはかる。京都について知っていることや経験したことなど、初対面でも共有できる話題があると話がはずむ。ほかの人にもその情報は役に立つだろう。

② 京都の良さを強調するための表現形式「何を見ても／いつ来ても／...）」を取り上げる。

③ 説明文にある「かんこうツアーのリーダー」とは、いっしょに観光を楽しむグループの呼びかけ人や取りまとめ役という意味で、旅行会社の人である必要はない。会話練習は、最終的には学習者の国や町を日本人に案内するという設定で行いたい。京都への興味が強い場合は、①で聞いた会話内容を参照しての練習でもよい。

③このおてらは14せいきにたてられました

「Can-do36 有名な場所について簡単に話します」

① 観光名所でガイドさんの説明を聞く場面。観光名所に行くと、地元市民ボランティアガイドによる説明を聞くことがある。ここは、そのようなガイドさんから、小グループで説明を聞くという場面である。小グループで、ガイドさんとの距離も近いので、ちょっと勇気を出せば話しかけたり質問したりすることもできるだろう。観光名所の説明には専門用語や日常的にはあまり聞かない語が使われる。ここでは4つの名所に関する数を聞き取ることをタスクとしているが、数を聞いて終わりではなく、それをヒントに説明内容を理解すること。なお、会話1番は金箔を金、4番は襖絵（ふすまなどの建具に描かれた絵）を絵と言いかえている。

② 受身文を扱うが、ここでは歴史的建造物がいつつくられたかという事実を話すので過去形のみ提示。「(人)によって」は建造物をつくった人物にとくに言及する場合に使う。受け身文を使って観光名所の説明をする活動は難度が高く、準備も必要なので、ここでは会話練習を設けていない。しかし、105ページ下の表現「よかったら写真をとってください」は、名所を散策しているときに、いい写真が撮れる場所で使える表現。学習者が日本人を連れて自国の名所を案内するときに役に立つだろう。

④京都では京ことばが話されています

① 京都の町を歩きながら話す場面。③では観光名所が場面だが、ここは観光地を歩きながら気がついたことを話すという設定になっている。歩きながらあれこれ話すことで自然に交流ができる。京ことばや舞妓のはきもの（ぼっくり）の音も楽しんでほしい。

② ③に引き続き受身文を取り上げるが、文末は過去の出来事「V-られました」ではなく、「V-られています」の形で現在の状況を表現する。「Nとして」は補足情報を付加するために使う。(例 まいこさんの町として知られています。)

③ ②と同様、最終的には学習者の国や町を日本人に案内するという設定で行いたいですが、京都への興味が強く授業の流れを自国のことに転換しづらい場合は、①で聞いた会話内容を参照して練習し、学習者の国や町の情報を使った会話は自分でスクリプトに書くことなどを宿題としてもよい。

⑤京都の思い出

「Can-do37 観光地のノートに書いてあるコメントを読みます」

「Can-do38 観光地のノートにコメントを書きます」

観光名所にはそこを訪れた観光客が感想などを書くノートがよく置いてある。そのノートにどんなことが書いてあるかまず読んでみる。次に、日本語で一言、自分で書いてみる。落書きはしない。京都のどこかに行った気持ちになって、書くことが大切。この課で聞いたり話したりした文を思い出すと、書きたい表現が見つかるかもしれない。(例 何を見てもきれいです。／日本的ですばらしいです。／つぎは、友だちといっしょに来たいです。／……)

タスクシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

第14課 この絵はとてもゆうめいだそうです

第13課では小川さん一行は京都の町を歩いているが、この課で一行は博物館に入る。展示を見てまわるが、展示物の解説は難しい。そこで、日本人の案内役(小川さん)が解説を読み、それをごく簡単に言いかえて外国人に伝えるという「仲介」の役割を果たすことになる。学習者の自国においても、日本人の友人を博物館に案内した際に、自国語による解説を読んでポイントを簡単に日本人に話すということができるようになることを期待している。

①はくぶつかん

場面は博物館の中。いろいろな展示物がある。右上のイラストは、展示物とその解説を読んでいる二人連れ。この課の場面を表している。

所蔵品の分類名は実際には「絵画」「書跡」「彫刻」「金工」「陶磁」「漆工」「染織」「考古」(京都国立博物館)等となっているが、ここではわかりやすい語に言いかえた。右上は「風神雷神図屏風」の解説。すべてを読む必要はない。実際にはこれを読める人が仲介することになるので、何が書いてあるのか、数字が何を表すか、など考える程度でよい。「c どうぐ」は、実際は6本の細長い容器とそれを収納する大きい容器(写真下)できているが、写真上は紙面の都合上5本だけ写っている。

②この絵はこくほうだそうです

「Can-do39 博物館で展示物の説明の内容を友だちに簡単につたえます」

① 博物館で展示物を見ている場面。展示物を見て、第一印象を一言で言い、それに続いて由来を聞いたり、質問したりする。その中で、自分の文化との関係や、各国との交流、昔生きていた人々の気持ちなどに触れることになる。ここでも相互理解につながる交流の場が実現できる。

ここでの全体的にことばが難しく、またテキストがやや長いので、ていねいに進めたい。小川さんは日本語による解説を読んで、それを外国人の友人に伝える際に伝聞の表現「～そうです」を使う。(2)は選択肢のことば(h-1)を確認しておくこと。

② (1)は「～そうです」(伝聞)の文を作るために普通形が次々と出てくるので丁寧に。

③ 学習者の国や町にある歴史的なものの写真を用意して練習したい。自国語で書かれた解説を読んで、簡単に日本人に教えるといった場面を作って行う。会話の目的は、自国語で書かれた説明を読んで、それが読めない人(日本人)に簡単なことば(日本語)で伝えることである。そのときに使う言語形式の一つとして、文型「～そうです」は必要に応じて使えばよい。

③さつえいきんしと書いてあります

「Can-do40 博物館のルールについて話します」

① ②に引き続き、博物館で展示物を見ている場面。自分の行動が館内で許可されているか、たずねる人と答える人のやりとり。禁止事項のサインの下には漢字を含む語や表現もあるが、まずはサインを見て、何が禁止されているかがわかればよい。それから「禁止」「遠慮」などの漢字熟語を紹介する。「飲食ご遠慮ください」は第8課(p71)の学習内容とも関連している。

② 許可求めの「～てもいいですか」は、第3課でも学習している。別のトピック場面で再びここで取り上げる。

③ この会話では規則に反した行為を制止するが、あまり大げさにしないで、さりげなく言うようにしたほうが良い。ここでは厳しく言う必要はなく、事情を知らなかった外国人の友人の側に立ってやさしく話したい。

<生活と文化：でんとう文化と今のせいかつ>

現代生活に活かされている伝統文化の形を写真で見る。これらの事物はすべて日本人にとって新鮮な感覚でかつ自然に受け入れられているものである。学習者の国ではどんな伝統文化が、どのように姿を変えて、現代人に受け入れられているか、話し合ってみてほしい。伝統文化がすたれずに生き続けるためには何が必要なのか、そこまで議論が深まるとなおもしろい。

トピック8 せいかつとエコ

扉の写真は、電気（電力）を作りだすダム（＝水力発電）とソーラーパネル（＝太陽光の利用）。このトピックのキーワード「電気（電力）」に気づかせる。A2 レベルなりに、社会性の高い話題で考えを言ったり聞いたりできるだろう。

第15課 電気がついたままですよ

第15課は資源をむだにしない工夫について話す交流会話。自分の生活の見直しにつながれば、学習の成果も深まる。

①エコかつどう

114 ページは、エコ活動を呼びかけるポスター／パンフレットに見立てる。学習者にとっては初めて見る語も多いので、理解できるように音声を聞く前にイラストをじっくり見る。「もったいない」は媒介語などで軽く説明する。もったいない精神など、目に見えない日本の文化も扱えるとよい。「もったいない」とは、価値のあるものやまだ使えるものが有効に使われておらず残念である、惜しい、ということ。

②電気がついたままですよ

「Can-do41 環境によくないことを見つけて注意します／こたえます」

- ① オフィスで電気がついたままであることを上司が部下に注意する場面。上司は「電気を消してください」と直接言わず、「電気がついたままですね」と状況を記述している。そこから何を言われているのか、何をすべきかを若い社員は察している。会話を聞いて、このようなコミュニケーションの方法に注目してほしい。
- ② 「自動詞＋たまま」は、目の前の現象をとらえる表現として簡単に説明する。自・他動詞の学習は次の初中級レベルで扱う。「つきます／あきます」以外の動詞を加えて練習する必要はない。
- ③ 会話練習では、注意するときの口調があまりきつくないようにする。

③自分のバッグを持っていくようにしています

「Can-do42 自分のエコ活動について話します」

- ① ②でオフィスで注意されたことをきっかけに、エコ活動に興味をもったワンさんが、資源をむだにしない工夫について友人聞くという設定。5番まであるが、人それぞれの工夫を聞いてみてほしい。また、5人のエコ活動は日本ではよく行われていることなので、文化情報として話し合ってもおもしろい。ただし、3番はシャワー時間を2、3分に限定するというよりも、むだに長くしないという意味でとらえてほしい。
- ② 「V-る/V-ないようにしています」は日ごろから心がけていることを表す。また、「V-るのにいいです」は目的や用途を表すのに使われる。
- ③ 自分のことについて話したり、クラスメイトがしている工夫に肯定的な反応ができれば

ばよい。「できるだけ」を使うと、完ぺきではないかもしれないが自分にできる範囲で努力していることを示せる。「家で」「会社で」「町で」などエコ活動を行う場を指定すると、発話しやすいだろう。

第16課 フリーマーケットでうります

第16課ではエコ活動の中でも、ものを再利用する工夫について話す。フリーマーケットは本来 flea market だが、だれでも参加できるという意味で、日本では free market と訳される場合がある。普通の人々がこの日だけ商売人になってやりとりをするのを見るだけでもおもしろく、利用する外国人も多い。売る目的は、ちょっとしたお小遣い稼ぎ、せまい家でしまう場所がないので処分する、自分が不要になったものを捨てずにほかの人に使うためなど。値段はもとの1/10~1/20程度で、子ども服は100円程度、ワンピースやスーツでも2000~3000円程度で販売されている。週末には関東圏のどこかで必ず開かれる。日本社会の一面を知る上でおもしろい。

①フリーマーケット

写真はフリーマーケット（フリマ）。フリーマーケットで、どんなものがどんな風に売られているか見る。フリマにかぎらず、再利用関連の語もあるので注意。ものはどうしていらなくなるのか、いらなくなったらどうするか、いらぬものを持たないためにどうするかなど、学習者の経験もふまえて考える。

②フリーマーケットでうります

「Can-do43 ものをむだにしないために何をしているか話します」

① カルメンさん（メキシコ人ホセさんの妻）が友人たちといらなくなったものを処分する方法について話すという場面。日常のおしゃべりの中で、個人の生活や考え方を垣間見ることができておもしろい。

② (1)「V-たら」は仮定表現。第7課でも「雨が降ったらどうしますか。」という文で学習している。(2)は「ない形→なく+なる+たら」の形を作るのでやや複雑。説明や形の練習に時間をかけずに、「~なくなったら」を定型表現として紹介し、③で自分の工夫を話したりクラスメイトの工夫を聞いたりするのに時間を使いたい。

③古いきものをスカートにしました

「Can-do44 いらぬもので作ったものについて話します」

ワンさんが上司のよしださんの家に遊びに来たという設定。リメイクが趣味の奥さん（ゆう子）さんの作品を見て感心する。リメイクとは衣類などが不要になったときに、その素材（布など）を別のものに作り直すこと。きものは絹織物が多いが、着る機会が少ない。そこで、古いきものを洋服などに作り直して、また着られるようにするのである。学習者

の身の回りでもこのようなリメイクが行われているか、話してみるとよい。

- ① 写真とイラストのマッチングに戸惑う人もいるので聞く前に推測させること。
- ② 「NをNにする」(変化)、これを使って自分のリメイクのアイディアを言えるとおもしろい。

<生活と文化：エコかつどう>

写真をきっかけに、自分たちの生活を見直す。

※写真補足説明。

- 1 小中学校で行われている環境教育（ごみ拾い、湿地帯の生態系を守る活動）。
- 2 オフィスや市役所などでは節電のために、夏、涼しく過ごすビジネス用の服装（クールビズ COOL BIZ：和製英語）が奨励されている。対比のために、クールビズではないオフィス（小さい写真）を掲載。節電のために、冬、暖かく過ごす服装はウォームビズと言う。
- 3 ペーパータオルを使わず、エータオルや自分のハンカチを使用。
- 4 自分たちで町の資源ごみの収集に取り組む人々。

トピック9 じんせい

扉の写真上下 2 枚は、中央のアルバムを見ている二人の人生（子どものとき、若いころ）という設定である。（写真上は 1980 年代、写真下は 1960 年代。）

第 17 課 この人、していますか

① ゆうめいな人たち

124 ページ上のイラストが示すように、日常のおしゃべりの中で、雑誌などで取り上げられている有名人について話す交流会話の場面を想定している。外国に赴任したばかりの人や旅行で一時的に滞在している外国人はその国の有名人のことを知らないことが多い。それを教えてもらえば、異文化理解にも役立つし、交流にもなるだろう。

ここでは、日本国外とつながりを持って活躍した／している、有名な日本人を紹介する。

- ① 山下泰裕：1984 年オリンピック（アメリカ、ロサンゼルス大会）の柔道無差別級金メダリスト。すでに現役を引退しているので、現在はスポーツ選手というより柔道家と呼ぶのが適当。
- ② 黒澤明：トロフィーはオスカー像（アメリカ、アカデミー賞外国語映画賞、名誉賞）。ベネツィア国際映画祭、ベルリン国際映画祭、カンヌ国際映画祭などでも受賞。『羅生門』、『七人の侍』、『赤ひげ』、『影武者』、『乱』など、数多くの有名作品がある。
- ③ 村上春樹：『ノルウェイの森』、『海辺のカフカ』、『1Q84』など日本の国内外でベストセラーが多い。各国の文学賞も受賞。村上氏はまた翻訳家でもある。
- ④ 津田梅子：1871 年、6 歳のときに最年少の女子留学生として渡米した。1900 年に女

子の高等教育を行うために大学（現在の津田塾大学）を設立したので、教育者として知られる。自らは英語を教えた。

- ⑤ 湯川秀樹：写真は、アメリカのコロンビア大学で教えていたときのもの。右上の写真はノーベル賞のメダル（1949年物理学賞受賞）。
- ⑥ 黒柳徹子：写真はユニセフの活動でアフガニスタンに行ったときのもの。有名人にインタビューするテレビ番組『徹子の部屋』の司会者としてもよく知られている。
- ⑦ 五嶋みどり：現在アメリカを拠点に世界中で演奏活動を行い、多くの音楽ファンを魅了している。弟の五嶋龍氏もバイオリニスト。
- ⑧ 岡本太郎：写真の背景は自身の作品。「太陽の塔」（右下の写真）は、現在も大阪の万博公園にある。20代のとき1930年から10年間をパリで過ごしている。

音楽家、画家はともに芸術家とも言う。語彙指導上注意。

②外国でもじゅうどうをおしえているそうです

「Can-do45 有名な人について知っていることを話します」

① 124 ページ上のイラストのように、雑誌やサイトなどの写真を見せながら、自国の有名人について知っているかどうか、どんな人が話す交流会話。

ここでは、生きている人は「～さん」、亡くなった人は敬称なしとした。だれもが知っている基本的な情報は「～です」、より詳しいが知られていないかもしれない情報には「～そうです」（伝聞）をつけて話している。

③ 学習者の国の有名人をとりあげてやりとりをするが、その説明は名前、職業、何をした／している人かと言えるようにする。会話練習の目的は文型を必ず使うことではないので、「～そうです」も必要に応じて使えばよい。

③はじめてしょうせつを読んでからずっとファンです

「Can-do46 有名な人を好きになったきっかけについて話します」

① ②の交流会話の続きの場面。好きな有名人について、いつから好きか、どんなきっかけで好きになったか、少し詳しく話す。だれが好きかだけでなく、その人のどんな点が好きか、どう（どのぐらい）好きかは、話す人自身を表すので、お互いの話を興味を持って聞く。

② 「～てから」（行動の順番）、「～まで」（時間的範囲の終わり）をとりあげる。「～てから」は第4課でも学習している。

③ 会話練習では自分のことを話す。「～てから」「～まで」は学習者が言いたい内容によって、必要なら使うこと。

④私の国のゆうめいな人

「Can-do47 自分の国の有名な人についてメモを見ながら話します」

日本人や外国人に紹介したい自国の有名人はどんな人か、なぜ紹介したいのか考える。
いろいろな分野の有名人の写真を複数準備して、その中から選ばせてもよい。生まれた年
など正確にわからない場合は、「～年前」「～世紀ごろ」でかまわない。
ワークシート→ダウンロード教材あり。ポートフォリオに入れる。

第18課 どんな子どもでしたか

① さとうさんのじんせい

さとうさんは、『まるごと』のキャラクターで女性エンジニア。生い立ちの年表を見ながら、
語彙を確認する。日本企業の一般的な定年退職は60歳。会社によってはその後、65歳ぐら
いまで働けるところもある。

年表の中の語で、入学、卒業、結婚、転勤、帰国、退職は「する」をつければ動詞になる。
生まれる、なくなる、病気になる、のように年表の中では過去の出来事も非過去形で表し
ている。

② よくりょうしんにしかられました

「Can-do48 子ども／学生のときの思い出を話します」

① 子どものころや、学生のころの思い出話をする交流会話。子どもの話やある時代につ
いて話すうちに、自分自身のことに話題が発展することもあるだろう。思い出を表すイラ
スト (a-d) は少しこみ入っているので、会話を聞く前によく見て、どんな内容か、どんな
ことばが使われているか予測してみる。

② 再度、受け身文をとりあげる。使用語彙はこのトピック場面で必要な語に限っている
ので、それとは無関係なほかの語を使って練習する必要はない。

③ 子どものころや学生のころの思い出を話す。受身形は学習者の言いたいことを表現す
るのに必要なら使うこと。「(元気な) 子どもだったんですね」のような、内容を理解した
ことを示すあいづちがうてるとよい。

③ どうして日本語の勉強をはじめたんですか

「Can-do49 新しいことを始めたきっかけやその後の変化について話します」

① ②に引き続いて、相手の今までの経験や出来事を話題にする交流会話の場面。ここ
では、結婚、就職、外国語学習、趣味などのきっかけと、その後の変化を聞く。1番(さかい
さんの結婚のきっかけ)のようにプライベートなことを聞くときは、「失礼ですが」と質問
する前につけたほうがいい。

② 「V-るようになりました」は行動や習慣の変化、「V-られるようになりました」は能
力の変化を表す。

③ ①の会話を参考に、日本語の勉強や趣味、仕事のきっかけと変化を話す。内容に応じ
た質問やあいづちで会話が進められるとよい。また、文字化はしていないが①で述べたよ

うに、プライベートなことを聞くときは「失礼ですが」や「聞いてもいいですか」と言ってから質問したほうが丁寧であることを補足説明する。

<生活と文化：日本の50年前と今>

同じ場所、同じテーマのものについて、現在（2010年代）と50年前（1960年代）を見比べて、気がついたことを話し合う。学習者の国について同じように今と50年前を比べてもおもしろい。学習者の経験を踏まえて、社会や私たちの生活がどう変わったか、また変わらないものは何か、話し合ってもよいだろう。

写真補足説明

1 写真は東京、浅草の吾妻橋から見える景色。ビール会社のユニークな建物の隣に見えるのは東京スカイツリー。
